

目次

看護部インターシップを開催しました	1
職場体験を実施しました	2
検査科からのお願い	3
エレベーター更新工事のお知らせ	4
外来医師担当表	5

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構

発行責任者：萩野 哲男

住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35

電話：055-253-6131

ファックス：055-251-5597

ホームページ：<https://kofu.hosp.go.jp/>

Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp



地藏岳



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization Kofu National Hospital

甲府病院の理念

理念

私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します



看護部インターシップを開催しました

看護部では、看護学生を対象としたインターンシップを7月28日～8月7日まで全6回開催し、64名の看護学生にご参加いただきました。本インターンシップは、当院の特徴や看護の特色、職場環境を実際に体験し、将来の進路選択の一助としていただくことを目的として、毎年夏期・春期に実施しています。

第1部

病院および看護部の紹介を行い、当院の理念や基本方針、看護部が大切にしている「思いやりのある看護」の実践について説明しました。また、新人看護師教育のローテーション研修やキャリア支援制度など、安心して成長できる教育体制についても紹介し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



第2部

病棟体験では、重症心身障害児（者）病棟と希望病棟を見学し、各部署の特徴や看護師の役割について理解を深めていただきました。参加者の多くは重症心身障害児（者）病棟を初めて見学し、患者さん一人ひとりに寄り添う看護や多職種と連携した医療、スタッフ同士が協力して働く姿を間近に体験しました。



第3部

1.2年目の先輩看護師との交流会を実施しました。日々の業務内容や仕事のやりがい、ローテーション研修について意見交換が行われ、学生の皆さんは積極的に質問していました。

先輩看護師に相談しやすい職場環境でした

重症病棟を初めて見学しとても印象に残りました

病棟の明るい雰囲気が印象的でした

新人看護師が安心して成長できると感じました

一人ひとりに合わせた看護の実践に魅力を感じました



看護部では今後も病院見学会やインターンシップを通じて、当院の看護や職場の魅力を知っていただく機会を積極的に提供してまいります。

参加された学生の皆さんが今回の経験を今後の学びや進路選択に生かしてくださることを願っています。



職場体験を実施しました

今般、県内の中学校および高等学校から生徒の皆さんをお迎えし、職場体験を実施しました。

今回来院されたのは、県内の中学2年生6名、高校1年生11名、2年生1名の皆さんです。白衣を着た職員や院内の雰囲気には、はじめは緊張した様子も見られましたが、スタッフの説明を受けながら院内を見学するうちに、徐々に表情も和らぎ、積極的に質問する姿が印象的でした。

職場体験では、看護部の仕事を中心に、外来診療の流れや患者さんへの対応、検査やリハビリとの連携について、手術室の見学などをしていただきました。また、実際に使用している医療機器や電子カルテの仕組みについても説明を行い、看護師がどのように患者さんを支えながら医療チームの一員として業務を行っているのかを学んでいただきました。生徒の皆さんは熱心にメモを取りながら話を聞き、看護師の役割や業務内容に高い関心を示していました。

特に高校生の皆さんには、将来の進路選択を考える時期であることから、看護師になるために必要な知識や資格、仕事のやりがいについても紹介しました。実際に働く看護師との交流を通して、患者さんに寄り添いながら地域医療を支える看護の仕事を目撃していただけたようです。



体験後には、

「たくさんの方が協力して患者さんを支えていることが分かりました」

「思っていた以上に細かい確認が多くて驚きました」

「医療の仕事は患者さんと向き合うだけでなく、多くのスタッフとの連携が大切だと感じました」



「看護師の仕事を見て、将来看護師になりたいという気持ちがより一層大きくなりました。」などの感想が寄せられました。



医療は、一人の力だけでは成り立ちません。患者さんに安心して医療を受けていただくために、多くの職種が互いに連携し、それぞれの専門性を発揮しながら日々業務に取り組んでいます。今回の体験を通して、生徒の皆さんにはその重要性を実感していただけたようです。

また、この職場体験は生徒の皆さんだけでなく、私たち職員にとっても自身の仕事を振り返る貴重な機会となりました。普段は当たり前に行っている一つひとつの業務も、外からの視点で見つめ直すことで、その意味や大切さを改めて認識することができました。患者さんへの細やかな配慮や安全を守るための確認作業、スタッフ同士の情報共有など、日常業務の重要性を再確認する機会となりました。

当院では、地域とのつながりを大切に、医療への理解を深めていただく取り組みを継続しています。今回の職場体験が、生徒の皆さんにとって将来の進路や職業選択を考えるきっかけとなり、その中で医療の仕事に興味や関心を持ていただければ幸いです。

ご参加いただいた生徒の皆さん、ならびに関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。今後も地域に開かれた医療機関として、こうした学びの機会を大切にしていまいります。



検査科からのお願い

* 当日の診療状況により、追加で検査する場合がございますので
下記の項目についてご協力よろしくお願いいたします。



ご本人様確認にご協力ください

患者誤認防止のため
お名前(フルネーム)と
必要に応じて
生年月日を確認します。



採血時の確認事項

- ・アルコール綿やラテックス等
アレルギーの有無
- ・過去に気分不良や失神を
起こしたことがないか
- ・抗凝固剤を服用しているか



脱ぎ着しやすい 服装で お越してください

採血・心電図・超音波検査で
は検査する部位を露出して
いただきます。



飲食制限が ある場合は お守りください

- ・血液検査では血糖値や脂質等
の検査結果に影響します。
- ・超音波では肝臓、胆嚢、膵臓等
が観察しにくくなります。



検体は正しい方法で提出ください

尿 : 中間尿を25mL以上採取してください。

便 : 便の表面全体をまんべんなく均一に採取してください。
スティックの溝が埋まる程度が適量です。

喀痰 : 採取前に水でうがいをしてください。

唾液ではなく気道の奥から出た痰を採取してください。

正しい検査と安全な医療のために皆様のご協力をお願いいたします

エレベーター更新工事のお知らせ

このたび、令和8年(2026年)10月から令和9年(2027年)5月頃までを目途に、院内に設置してある3基のエレベーターを更新する工事を実施することをお知らせ致します。まず初めに、外来の1階と2階をつないでいる3号機エレベーター更新が10月13日(火)から始まります。

工事期間中は、エレベーターの使用制限、作業音の発生などにより、病院利用者の方々には大変ご不便、ご迷惑をおかけいたします。

工事には、安全に十分配慮して工事を進めてまいりますので、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

No.1,2 号機



完成イメージ図

No.3 号機



完成イメージ図

令和8年度一日平均患者数

(小数点以下第2位は四捨五入)

※ 9月分及び年間累計は 10月1日現在

入院	月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	一般	91.5	79.5	87.5	86.3	101.6	93.6							90.0
	重心	122.2	123.2	122.8	123.0	123.2	124.7							123.2
	計	213.7	202.7	210.3	209.3	224.8	218.2							213.2

※ 9月分及び年間累計は 10月1日現在

外来	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		240.6	250.0	239.0	244.2	241.8	263.6							246.5

国立病院機構甲府病院 外来医師担当表

2026 年 10 月 1 日現在

				月	火	水	木	金
一 階	消化器内科		消化器内科診察室		白勢 大門		都倉 昭彦 (午後)	
	消化器外科		消化器内科診察室					
			診察室 1	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	
			診察室 2		土屋 雅人	土屋 雅人	土屋 雅人	土屋 雅人
			(5 階) 化学療法		○	○		
			診察室 1		○	○		
			診察室 2					
	内 科		診察室 3				中尾 篤人	
			診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵		黒澤 理恵
			診察室 5	古屋 真由	古屋 直子	谷本由季絵 (第 1・3)		堤 貴大 (第 3・5) 谷本 由季絵 (第 1・2・4)
	糖尿病内科		診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵	望月 美恵 (小児科)	黒澤 理恵 望月 美恵(小児科)
	循環器内科		診察室 6	薬袋 路子 (受付は 10:30 まで)		中村 貴光 (受付は 10:30 まで)		黒木 健志 (午後)
	呼吸器内科		診察室 3			森下 彰友 (午後)		副島 研造 (午後)
	神 経 内 科		診察室 7			太田恵美子		太田恵美子
	脳神経外科		診察室 8	長沼 博文	長沼 博文		長沼 博文	長沼 博文
			診察室 9 (共用)					大学医師
	皮 膚 科		消化器内科診察室					川村 龍吉 (受付は 10:30 まで)
	整形外科 (スポーツ・膝疾患 治療センター)		診察室 11	午前 萩野 哲男	古屋 直人	河野 紘之	萩野 哲男	
			午後					
			診察室 12	午前 若生 政憲	河野 紘之		若生 政憲	
			午後				脊椎外来 勝 麻里那 (奇数週・予約のみ)	
			診察室 13	午前 入戸野雅人	落合 聡司	落合 聡司	落合 聡司	齋藤 正憲
			診察室 14	午前	山下 隆	齋藤 正憲		山下 隆
			診察室 15	午前 装具外 来		装具外 来		装具外 来
			診察室 9(共用)	午前 山下 隆	麻野 康基	入戸野雅人	麻野 康基	
			診察室10(共用)	午前 古屋 直人	千賀 進也	千賀 進也		千賀 進也
二 階	検査室(内視鏡)		午前(上部)	村松 篤				
			午後(下部)	土屋 雅人		若尾 聡士		
	小児科		午前	沢登 恵美	内田 則彦	薬袋 周 (沢登 恵美)	沢登 恵美	田丸 徑 (望月 美恵)
			午後		フォローアップ 久富 幹則	フォローアップ リズム外来	予防接種	リズム外来
			小児専門外来 午後 完全予約制	1	神 経 (中村 幸介・石井 佐綾香・田丸 徑)			
				2	腎臓・リウマチ (沢登 恵美・中澤 瑞葉)			
				3	内分泌・糖尿病 (望月 美恵)			
				4	肥 満・栄 養 (内田 則彦)			
				5	成 長・発 育 (予約)			
				6	食物アレルギー (予約)			
				7	循 環 器 (大学医師) 第 1 木曜日、第 3 月曜日、第 4 水曜日			
				8	摂 食 (小野 智佳子) 第 1・3 木曜日			
	産婦人科		1 午前	滝澤 基	雨宮 厚仁	川瀧英梨子	雨宮 厚仁	滝澤 基
			午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来				
			2 (予約のみ)	雨宮 厚仁	滝澤 基	滝澤 基 / 雨宮厚仁	滝澤 基	雨宮 厚仁
	眼 科			古屋 敏江 (予約のみ)	古屋 敏江	古屋 敏江		古屋 敏江
	泌尿器科 (予約のみ)			滝花 義男(奇数週)				
	耳鼻咽喉科						矢崎 裕久	

- 受付時間／平日(月～金曜日)午前8時30分～午前11時00分 水曜日・金曜日午後呼吸器内科受付時間／13:00～15:00(診察13:00～16:00)
- 消化器内科の初回受診希望時は、事前に内科外来までご連絡ください(予約電話受付13:00～16:00(平日のみ))
- 各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。消化器内科、脊椎外来、泌尿器科の初診の受付はありません。

※ 右記のものについては事前の ● 小児科乳児健診 (月～金) ● 毎月第 4 金曜日午後 外来糖尿病教室 ● 出生前遺伝カウンセリング外来
予約が必要となります。 ● 予防接種 (小児科) 毎週木曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内

- 母乳外来 (月～金曜日) ● フットケア (開催曜日はお問い合わせください) ● 育児相談 (月～金曜日) (※事前の電話予約をお願いいたします)

特殊外来ご案内

- 「物忘れ外来」は、脳神経外科(月・火・木・金曜日)で行っています。
物忘れ外来の初回受診時は、診察予約及び他医療機関からの紹介状が必要となります
(予約電話受付13:00～16:00(平日のみ))

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
■宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画室 細入
TEL: 055-253-6131

2026年度職員採用試験案内

看護師・助産師・看護助手の採用試験 (パート) は随時行っています。	
申し込み方法	※下記の電話番号に (平日 8:30～17:15) 直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597

編集後記

「先日の連休に千葉へ帰省した際、通行止めになっている道路や冠水した故障車を目にし、大変衝撃を受けました。また、ニュースでは水没してしまった畑や、被害を受けて枯れてしまった野菜なども取り上げられており、農作物にも大きな影響が出ていることを知りました。
今年は全国的に水害が多く、今後食材の価格や出回る量にも影響が出てくると思われます。これから秋の味覚を楽しむ中で、食材が食卓に届くまでの過程にも少し目を向けたいですね。」(編集委員S・A)